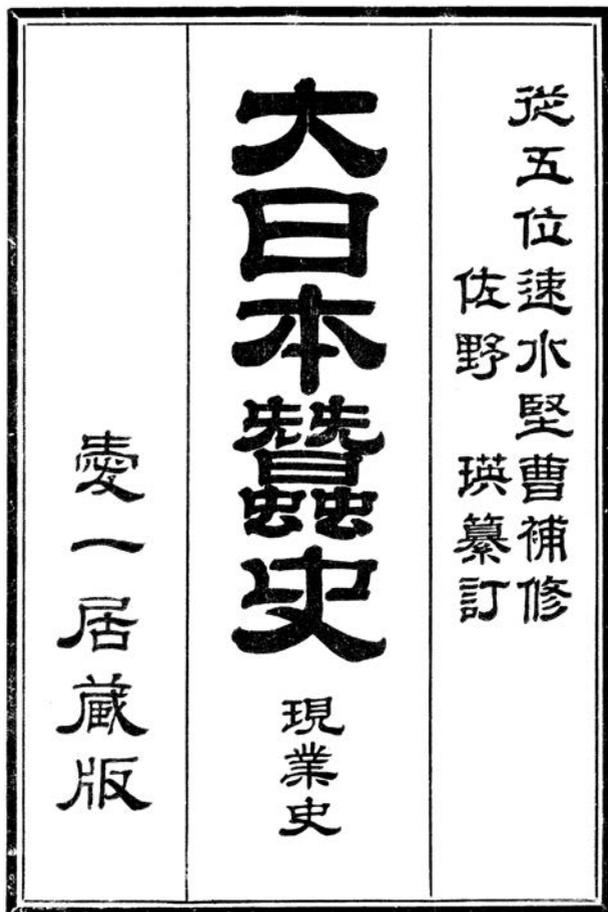


大日本蚕史 現業史

復刊版



從五位速水堅曹補修
佐野 瑛纂訂

大日本蚕史

現業史

慶一居蔵版

群馬地域文化振興会

從五位速水堅曹補修
佐野 瑛纂訂

大日本先靈史

現業史

凌一居藏版

大日本蠶史 現業史之部

凡

凡例

一大日本蠶史ノ現業史ニ網羅スル所ノ綱目ハ概シテ實業上ノ沿革ノミナレハ當業者ガ以テ座右ノ銘鑑トナスモ蓋シ益スル事尠少ニアラズト私考ス

一現業史ヲ纂訂スルニ當リ正史ノ如ク世紀分綴ニ止メズシテ雜繁ノ綱目ヲ設ケシ所以ノ者ハ實業上ニ於ケルノ作働ハ自カラ異ナル所アルノミナラス又多クノ事項ニ分岐スルガ故之ヲ分綴羅纂スルニ非レバ梗概得テ知ル事能ハザルノ恐アルヲ以テナリ

一本邦蠶政上ニ就キテノ徵證書類ハ既ニ正史ニ羅綴セルガ如クナルモ現業史ハ參照書目僅少ナルノミナラズ往古ノ事ニ係リテハ絶無ニシテ近世以降漸ク書類ノ參照スベキ者ヲ得ルニ過ギザレハ太古以降中世ハ概シテ傳説ト推斷ニ出ヅルモノ多シトナス

一本書ノ第參編ニ羅集セル種史ハ考證ヲ求ムルニ多クハ本邦昔時ノ養蠶書ニ據ルト雖モ其之ナキモノハ余ガ多年實驗調査シタル確説ニ加フルニ明治二十七年來各府縣廳、蠶絲業

例

大 日 本 蠶 史

二

組合、及當業者ノ調査シタル書類ニ依リテ編纂シタルモノナレトモ往々蛇足ノ譏リヲ編中免レザル場合アリ然レトモ斯ハ官衙ガ殊ニ寄送セラレタル者ヨリ出ヅルヲ以テニ加フル事トハナセリ

一勢ヒ斯ノ如クナレハ若シ本書ニ纂訂シタル事實ノ正史ト現業史トニ拘ラズ誤謬若クハ脱漏ノ者アルヲ發見セバ希クハ著者ニ對ツテ示教ノ榮ヲ賜ヘ余ハ一増精ヲ勵マシテ又能ク訂正上梓スルニ躊躇セザルナリ

明治三十一年八月上浣

著 者 佐 野 瑛 識

現 業 史 目 次

大日本蠶史 後卷

現業史目次

第貳編 現業史	一
第壹章 往古ニ於ケル現業三世史	二
第貳章 現業今世史	百〇四頁
第參章 飼育分類	百四十七頁
總言	百四十七頁
第壹節 清涼育史	百五十三頁
第貳節 全枝葉育史	百六十二頁
附 全葉飼育	百七十六頁
第參節 急熱育史	百八十一頁
第四章 夏蠶史	二百五頁

大 日 本 蠶 史

二

第五章	秋蠶史	二百十六頁
第六章	蠶病史	二百五十七頁
第七章	桑培史	二百九十八頁
第參編	種 史	一 頁
第壹章	製種史	三 頁
第貳章	繭質總論	二十四頁
第參章	白繭史	三十 頁
第四章	黃繭史	百十三頁

現業史目次完結

大日本蠶史 後卷

第貳編 現業史

現業史

大日本蠶史ノ現業史ト稱スルハ養蠶實務ノ沿革ヲ編纂シタル者ニシテ實業者ガ實務ニ従事セル事項ノ外見ル可キ章句ナシ然レモ往古ノ時代ニ於テハ正史ニ於ケル行政上ノ沿革ト異ナリ殊ニ徵證ノ資料ヲ缺キ其働作ヲ詳ニスル事能ハズ於茲世上ノ傳説ヲ基トナシ之ニ進化上ノ臆測推斷ヲ應用シテ聊カ當業者斯業ニ於ル參考ノ資料ニ供セント欲ス

歲遷リ星變リ社界ハ發達シテ人文改進ノ時世ニ當テハ斯業ノ實務モ其現況ヲ徵證スルニ敢テ難キヲ欲セズ文献ニ據リテ能ク當業者ノ働作ヲ觀察シ後日斯業ノ參考ニ裨益スルヲ斷言スルニ憚ラザルナリ故ニ前陳往古ノ狀態ハ寧ロ推斷ヲ縷綴スルニ過キザルモノナレバ識者諸君請フ能ク是正ノ煩ヲ惜ム事ナカラント而シテ今世ニ現レタル斯業ノ事項ハ本文ニ詳ナルガ如ク諸種ノ妄進實ニ那邊ニ至リテ正鵠ヲ奏スベキカ甚タ憂ヘザルヲ得ズ此狀恰モ亂

世ニ剽ヲ削ルト同一各自發顯ノ項門ニ就テハ自重シテ所信ヲ遂行スルニ勉ルノミナルガ故ニ其結果ハ終ニ生絲ニ現ハレ爲ニ需用地ニ醜聲ヲ遺スヲ見ル此事ハ記シテ前編正史ニ詳ナリト雖モ其素養ハ現業ノ部ニ於テ遠ク慮ラザル可ラザル事ト思諒ス忠君愛國ノ當業者諸君現時頻繁ナル我蠶業界ニ處スルニ須ラク斯業ノ長策ヲ經營シテ迷津ニ浮浪セル難局ヲ救済スルアラハ邦家ノ僥運蓋シ之ヨリ大ナルハナシ

從五位 速水堅曹補修

佐野 瑛纂訂

第一章 往古ニ於ケル現業二世史

天地間ニ生息スル動物社會草昧ノ時代ニ於テハ如何ニ生活シツ、アリシヤ本書蠶蟲變遷ノ狀態ヲ知得スル上ニ於テ大ニ講究スベキ價值ヲ有スル問題ニ屬スト雖モ余ガ大日本蠶

現 業 史

史ニ於テハ斯ク深遠ノ問題ヲ講究スベキ餘地ナキ而已ナラズ斯ハ業ニ已ニ社會進化ノ理想ヲ講究セル文書世ニ行ハレツ、アルヲ以テ此事項須ラク茲ニ省ク事トナス要スルニ蠶蟲ガ本邦紀元前即チ神代ノ頃保食神ニ因ツテ發顯セラレ其後天八千姬命天香山ニ於テ飼養セシ當時ノ状態ヲ推究シテ參考ノ資料ヲ得ント欲スルニ過キザルナリ傳ヘ曰ク蠶虫養成ノ初期即チ社會ガ認メテ有効ノ者ナリトシ始メテ之ヲ飼育セシ當時ハ野外飼育ニ外ナラズトセリ是レ進化學上ノ理想ヨリ太古人類ガ穴居ノ状態ヲ推測シテ以テ蠶虫養成ノ實況ヲ臆斷シ未タ之ヲ室内ニ於テ飼育セントスル智識ノ發達ニ至ラズト謂フヨリ起ル所ナルベシ之ヲ以テ考フレバ養蠶初期ノ方法ハ人類ガ之ニ保護ヲ與フル只ニ他ノ鳥蟲ノ侵害ヲ防禦シタルニ過ギサリシ事ナランカ

讀者諸君請フ試ニ春日山野ヲ逍遙シテ篤ク野蠶ノ生活ニ就キ實驗ヲ遂ク可シ野蠶ハ多クハ其色茶褐ノ濃ナル者ニシテ頭部ハ家蠶ニ比シ稍大ニ皮膚モ剛強ノ感アリ而シテ該蟲ハ天賦ノ機能ヲ造化ノ默命スル所ニ從ツテ發動シ自活ノ道ヲ營ミ自衛ノ術ヲ講ズル働作極メテ巧妙ニシテ曾ツテ他ニ依ラント欲スル現象ヲ示サズ其狀恰モ吾人ガ人跡アラザル島嶼ニ獨リ生活ヲ營ムカ若クハ人烟ヲ離レタル深山幽谷ニ假居ヲ求メシ當時ノ働作ニ伯仲